

種智院大学 同窓会報

第33号

平成20年1月15日

種智院大学同窓会

〒612-8156

京都市伏見区向島西定請70 種智院大学内

TEL (075) 604-5600 FAX (075) 604-5610



平成19年度同窓会総会

平成19年度種智院大学同窓会総会は、例年より遅い平成19年8月31日（金）13時30分から母校講義室で行われた。

総会に先立ち、昨年度亡くなられた緒先輩方の追悼のため、足立有教師（昭和28）を経頭に物故者慰霊法要が営まれた。

総会では、まず頼富学長の挨拶があり、20年度より仏教学部から人文学部へ名称が変更になる点についての報告と125周年記念行事へのお礼と130周年を視野に入れた大学の今後の取り組みについて述べられた。

議事に入り、議長に杉崎圓覚師（昭和54）を選出。18年度の事業報告ならびに決算について報告があった。決算については、従来の決算書に準拠して作成された収支決算書と勘定科目を改めた収支決算書の2つの収支決算書が示された。特に今年度より、各年度の収支を正確に捉えるため発生主義という会計概念を用いて記帳することとしたこと、また2つ目の収支決算書は事業活動の内容と一致するように見直しを行い、新規の勘定科目により作成したもので、両者は同じものであるなどの説明が事務局よりなされ、監査報告の後承認された。

引き続き、19年度事業計画案ならびに19年度予算案について報告がなされた。この中で、来年度の大学との連携による石山寺結縁灌頂等の記念事業を実施するにあたり、今年度準備のための

事業費を特に設けることについて、説明があった。

これに対し、学長より創立記念事業への尽力に対する謝意が述べられ、また入学辞退に伴う該当者への返金の計上についての質問がなされたが、19年度以降は発生主義の会計に変更したことから返金が起こらない旨の回答があり、原案通り承認された。

次に協議事項に入り、①同窓会記念事業について、来年度に石山寺での結縁灌頂の開壇、本年度はその準備という形で伝授を行うという趣旨説明が準備委員会からなされ、事務局の補足説明の後了承された。その他は発議がなかった。

報告事項に移り、①役員人事については、前年9月に総本山泉涌寺の長老にご就任された上村貞郎師（昭和36年）を顧問に推戴することと、②同窓会奨学金給付について報告があり、鷲尾会長から4名の奨学生にそれぞれ奨学金給付証が授与され、奨学生からお礼の挨拶があった。また、③同窓会ホームページの開設の報告がなされた。その他として、結縁灌頂の受者の件について質問があり、それに対して同窓会の協力のもとに周知・宣伝活動を行って受者を確保し、数百名の結縁灌頂を行いたいとの回答がなされ、総会は終了した。

続いて、(株)松栄堂代表取締役社長の畑正高先生の記念講演「京と香り」を拝聴、記念撮影の後、ホテルグランヴィア京都に会場を移して和やかに懇親会が行われ、再会を約して散会した。

ごあいさつ

種智院大学同窓会会長 鷲尾 遍隆



新年おめでとうございます。寒さの厳しい昨今ですが、同窓会の皆様方にはお健やかに過ごしのことと存じます。

おかげをもちまして、会長として2年、つつがなく職責を果たさせていただいております。当初は戸惑いも多かったのですが、ようやく皆さまの声を会の運営に反映できるようになったかと思っている昨今でございます。

昨年度は、総賛創立125周年ということで、さまざまな事業を行わせていただきました。そして、これを受けまして、母校種智院大学と共同で何かをおこない、大学と同窓会ととも活性化を図ることになりました。

大学は、どこも少子化の波に曝されておりますが、種智院大学も例外ではなく、今年度定員を大きく割り込みました。このことは、とりもなおさず同窓会の会員の減少、やがては不活性化へつながって行きかねない、たいへんな事態と思われまふ。これに対して、速効性の手段はあまり多くはないように思われますが、同窓会といたしましては、側面から多岐にわたる支援・協力を考えております。現在、奨学金事業はおかげさまで順調にすすみ、毎年4名の奨学生を出しております。これも、皆様方の温かいご協力のたまものと存じます。会を代表して厚く御礼申し上げます。

さらに、今年度の総会では、種智院大学と同窓会共催の、石山寺での結縁灌頂の開催と、併せてこれに係る諸作法等の伝授が承認されました。詳細は、別途お知らせいたしますが、結縁灌頂は僧俗を問わずどなたでも入壇していただくことができ、密教の精髓に触れるまたない機会かと存じます。寺院関係のお方は、ご出仕・ご助法、あるいは檀信徒のお方に、ご周知いただければと存じますし、一般のお方は、お知り合いをお誘い合わせの上、とともにご入壇いただければ幸いです。時期的には、初夏の梅雨前を予定しておりますので、弘法大師の神秘に触れていただくとともに、新緑の琵琶湖散策の絶好の季節かと存じます。

同時に、種智院大学の講義に関連する企画、展示などができればと考えております。こちらの方へのご協力・ご助言もいただければ幸いです。

このようにして、一人でも多くの方に種智院大学の存在と個性を知っていただき、入学希望者へとつなげて行ければ、これに勝るものはございません。そのためには、まず第一歩となります、結縁灌頂にぜひ皆さまご参加いただき、母校ならびに同窓会をいっそう活性化させたく存じます。どうぞよろしくお願いたします。

合学

ごあいさつ

種智院大学学長 頼富 本宏



明けましておめでとうございます。同窓会の皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

今年の総会が開催されたころは、本当に暑い夏でした。何十年ぶりに気温の最高記録が更新されたところもあったようです。そういう暑いお盆を多くの方が無事に越されて、同窓会総会にご参加いただきましたことを、学長といたしまして心から御礼を申し上げます。また、今年は8月の末の開催でしたが、卒業年次の近い同期会も同時に開催され、たくさん卒業生の方にお集まりいただき、お目にかかれました。

大学の現状は、一部既報ではありますが、仏教学部の名前が来年度から消えてまいります。仏教学部の名称は、関西では来年4月から佛教学部が復活させますが、そのほか日本で残っているのは駒澤大学、立正大学ならびに身延山大学の4大学になります。残念ですけれども、種智院大学は、平成15年から18年を頂点といたしまして、多い年は入学定員の1.5倍、2百数十名を受け入れた時もございました。ただ、ご承知のように平成18年あたりから18歳人口が減っておりまして、また、社会福祉学科の入学者数が伸びず、今年はいよいよ入学定員を割り込んでしまいました。そのためということではありませんが、仏教学部という名称を人文学部の中に、幅広く門戸を開くことにいたしました。来年度からは、種智院大学人文学部の中に、仏教学科と社会福祉学科の二つの体制でいくということをご報告させていただきます。

それから、大学として得度式以外に、加行・灌頂、つまり真言宗の僧侶の方を育成するプログラムを今井前学長のときに再開いたしましたから、すでに10年余りになります。今年度も西大寺さまのご協力をいただきまして実施しております。そのなかで、ご年配の方々が真言宗の勉強、そして実践をやりたいという要望も出てまいりました。本学はやはりお大師さまのご精神に則り、そういう道を求める方々の環境づくりというものにも筋でまいりたいと思っておりますので、引き続きよろしくご支援のほどをお願いする次第であります。

そして、同窓会ならびに大学がより協力しあって、福祉を含め真言密教の新しい発展ということをいろいろと企画しております。昨年は、種智院大学の母体である真言宗京都学園が総賛創立より125周年を迎えました。先の話でございますが、130周年が4年後にまた控えております。それを射程に入れながら、大学ならびに同窓会が協力しあって、皆様のお力を集めながら、お大師さまの精神をもう一度現代に生かすということについて、いろいろと企画を頂戴して、進めさせていただきたいと考えております。その中で、現在計画しておりますのが、平成21年度から通信制の大学院を立ち上げる準備をいたしております。特にさまざまな世代の方のご期待に応えるべく、ITなどを活用しつつ、先生方と実際に顔をあわせるスクーリングとで新しい教育体制を考えているところです。なかなか厳しい時代ですが、お大師様の教え、密教は、ご一緒に共に生き抜くという共生の道を歩ませていただくということに、真髄があるのではないかと考えておりますので、今後とも精進、努力していきたいと思っております。

平成19年度種智院大学同窓会総会出席者

卒業年等	氏名	卒業年等	氏名	卒業年等	氏名
昭和23	加藤 義昇	昭和56	北尾 隆心	平成12	国本 武秀
昭和23	蓮沼 龍春	昭和56	宮崎 快堯	平成12	シャキヤ・スタン
昭和24	佐伯 雅幸	昭和57	宇垣 泰明	平成12	田中 富三
昭和28	足立 有教	昭和57	新垣 かほる	平成14	林 尚
昭和28	加門 得有	昭和57	多田 剛士	平成17	榊原 賢
昭和32	高松 龍暉	昭和58	高田 良海	平成19	井上 瞬
昭和36	大塚 聖純	昭和59	中本 明男	平成19	森本 勇
昭和45	嶋 裕海	昭和59	児玉 和幸	平成19	古川 勝宣
昭和47	都 筑大乗	昭和60	佐野 剛空		頼富 本宏
昭和47	村岸 大光	昭和60	南 本源		児玉 義隆
昭和53	鷲尾 遍隆	昭和60	吉田 大治		明石 隆行
昭和54	上原 雅明	昭和61	見城 雅俊		佐伯 俊源
昭和54	内山 仁空	昭和61	玉川 光俊	学 生	杉村 由美
昭和54	杉崎 圓覺	昭和63	渡邊 恭章	学 生	馬場 泰暢
昭和54	田中 築心	平成02	大塚 知明	学 生	成瀬 弘斗
昭和54	原田 兼一	平成08	若泉 博絵	学 生	久住 忠弘
昭和55	長谷 法寿	平成12	鈴木 弘昭		

平成18年度事業報告

- 1.第1回同窓会会長・副会長会議(種智院大学同窓会奨学生選考)
日時・場所 平成18年5月26日(月)13時30分 種智院大学 第1会議室
1.会計監査
日時・場所 平成18年6月30日(金)13時 種智院大学 第3会議室
1.会長・副会長・事務局会議
日時・場所 平成18年7月7日(金)13時 種智院大学 第3会議室
1.平成18年度 大阪支部総会ならびに懇親会
日時・場所 平成18年7月10日(月)18時30分 すたんど割烹日本(大阪市中央区)
1.事務局会議
第1回 平成18年7月27日(木)18時 京都駅「かんこ」
第2回 平成18年10月19日(木)15時 種智院大学 第3会議室
1.幹事会
日時・場所 平成18年7月29日(土)11時 種智院大学 第1会議室
1.物故者慰霊法要
日時・場所 平成18年7月29日(土)13時30分 種智院大学 講義室401
1.総会
日時・場所 平成18年7月29日(土)13時40分 種智院大学 講義室401
1.記念講演
日時・場所 平成18年7月29日(土)15時 種智院大学 講義室204
演題 冷泉家の年中行事
講師 時雨亭文庫事務局長 冷泉貴実子 先生
1.懇親会
日時・場所 平成18年7月29日(土)17時 京都ホテルオークラ 眺雲の間
1.平成18年9月度 卒業証書・学位記授与式
日時・場所 平成18年9月22日(木)13時 種智院大学 第1会議室(2名)
卒業記念品 腕輪念珠
1.会報32号発行 発行日 平成18年12月1日(金)
1.学園創立125周年記念協賛行事
物故者追悼法要 平成18年12月15日(金)13時30分 種智院大学 講堂
記念講演 平成18年12月15日(金)15時 種智院大学 講義室204
演題 仏像と私 講師 みうらじゅん先生(イラストレーター)
1.記念事業準備委員会
第1回 平成18年12月15日(金)16時 種智院大学 第3会議室
1.平成18年度 第54回卒業証書・学位記授与式
日時・場所 平成19年3月15日(木)10時 種智院大学 講堂
同窓会長賞 懐中時計(2名) 卒業記念品 腕輪念珠(135名)

【平成18年度決算書】

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 会費, 懇親会費, 寄付金, 受取利息配当金, 雑収入金, 前年度より繰越, 合計.

※1.今年度会費収入が0円となっているのは、会計基準「発生主義」への移行に伴って経過的に発生する事例であり、平成19年度新入学生による会費収入は平成19年度会計に計上される。

支出の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 人件費, 総会諸費, 懇親会費, 奨学金費, 消耗品費, 印刷製本費, 通信費, 会議費, 慶弔費, 旅費交通費, 広報費, 雑費, 入学辞退者返金, 学園創立記念事業費, 次年度へ繰越, 合計.

※1.昨年度総会においては、学園創立125周年を機に、本会の活動活性化のため大学と共催して記念事業を行い、その準備委員会の設置が承認されている。その後、予算化されていなかったが12月15日に大学の記念行事にあわせて物故者追悼法要と記念講演等を開催した。

平成19年8月30日 精査の結果、種智院大学同窓会の 監査人 嶋 裕海 ⑩
会計処理が適正に執行されていることを認めます。 監査人 佐野 剛空 ⑩

平成19年度事業計画 (執行分含む)

- 1.事務局会議(第1回)
第1回 平成19年5月17日(木)18時 點心茶室京都店 (6名)
第2回 平成19年8月28日(火)17時 種智院大学 第2会議室(6名)
1.平成19年度種智院大学同窓会奨学金給付
日時 平成19年5月21日(火) (4名)
1.平成19年度 大阪支部物故者追悼法会ならびに総会・懇親会
日時 平成19年5月29日(火)
場所 総会・物故者追悼法要 報恩院(大阪市中央区)
懇親会 天祭(大阪市天王寺区)
1.記念事業準備委員会
第2回 平成19年6月1日(金)15時 種智院大学 第1会議室
第3回 平成19年6月26日(火)14時 種智院大学 第1会議室
第4回 平成19年7月24日(火)13時30分 石山寺
第5回 平成19年8月30日(木)14時 種智院大学 第1会議室
1.会計監査
日時 平成19年8月30日(木)16時 場所 種智院大学 第2会議室
1.幹事会
日時 平成19年8月31日(金)11時 場所 種智院大学 第1会議室
1.物故者慰霊法要
日時 平成19年8月31日(金)13時30分 場所 種智院大学 講義室401
1.総会
日時 平成19年8月31日(金)13時40分 場所 種智院大学 講義室401
1.記念講演
日時 平成19年8月31日(金)15時00分 場所 種智院大学 講義室204
演題 京と香り 講師 松栄堂代表取締役社長 畑 正高
1.懇親会
日時 平成19年8月31日(金)17時30分 場所 ホテルグランヴィア京都
1.平成19年9月度 卒業証書・学位記授与式
日時 平成19年9月22日(木)14時00分 場所 種智院大学 第1会議室
卒業記念品 腕輪念珠(1名)
1.会報33号発行 発行日 平成19年11月ごろ*
1.記念事業実行委員会 第1回 平成19年 秋ごろ
1.伝授
日時 平成20年1月・2月・3月の各2日 場所 石山寺(60名)*
1.平成19年度 第55回卒業証書・学位記授与式
日時 平成20年3月15日(土)10時 場所 種智院大学 講堂
同窓会長賞 記念品(2名) 卒業記念品 腕輪念珠(129名)*

*は予定

【平成19年度予算書】

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算, 前年度予算, 比較増減, 備考. Rows include I 収入の部, II 支出の部, 1.事業費, 2.管理費, 3.予備費, 当期収支合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越差額(D)-(C).

【斜体部分注】卒業記念事業費と慶弔費は前年度まで慶弔費として(注1)、IT事業費と業務委託費は前年度まで広報費として(注2)、消耗品費と支払手数料は前年度まで雑費として(注3)、それぞれ一括されていたものを、今年度よりの実態に則して科目分類を行った。また事務委託費は前年度まで消耗品費の科目となっていたが、その内容に則して科目名を改めた。(注4)

同窓会員紹介

今回は、種智院大学ご卒業後、仏師として活躍されている長谷法寿師をご紹介します。



長谷法寿師 略歴

昭和31(1956)年 愛知県豊田市出身

愛知県の中学卒業後、高野山高校に入学。仏像彫刻を学ぶため種智院大学に入学。在学中から、松久朋琳師に入門。また、本大学のインド・ラダック(西チベット) 仏教寺院調査に参加。種智院大学卒業後、高野山専修学院に進み、真言宗僧侶としての諸作法を学び、四度加行・伝法灌頂等を修める。専修学院卒業後、本格的に松久師に従い研鑽を積み、大本山成田山新勝寺大塔の五大尊の謹製に携わったのち、独立。賢劫造佛所を主宰し、摩耶山天上寺の諸堂の仏像や、大本山中山寺祈祷殿本尊などを謹刻。単なる仏像彫刻家ではなく、技術と知識を兼備し、木の中からほとけを生み出す仏師として活躍されている。また、今年度、母校の石山寺講座で仏頭制作の講座も担当された。著書に『賢劫の千仏』造沸写真集(平成11年 東方出版刊)など。

●仏師を志されたきっかけは何でしょうか

小学校6年の春、修学旅行で、奈良・東大寺南大門の仁王像と、京都・三十三間堂の二十八部衆を初めて仰ぎ見て、その光る玉眼と写実的な彫刻表現に魅せられてからです。

●入学当時の種智院大学はいかがでしたでしょうか

高校時代、真言宗系の大学には、高野山大学、大正大学、そして種智院大学の存在を知り、迷っていたのですが、当時、高野山大学にも講師として来ておられました山崎泰廣先生の勧めもあって、種智院大学に進学しました。

初めて見た学舎は、一棟だけで教室は明るかったのですが、高校時代に知っていた高野山大学のキャンパスに比べ、随分小さく感じました。その分、東寺の境内があったので、拝観に行ったり、弘法市を見に行きました。

●どのような学生時代でしたか

学生時代は、茶道部と空手部に所属し、学外では弓道と、毎週日曜日に下宿のある南区八条から、山科区にある九条山まで自転車ですべて仏像彫刻を習いに行っていました。そのため月謝で生活費が削られ、いつも空腹を感じていた学生時代でした。

3回生の夏、初めて海外調査に参加して行ったインド・ラダックの雄大な風景は今でも忘れません。

●高野山専修学院へ入門されたということですが…

最初は天台宗の比叡山も考えたのですが、仏教美術の数では高野山の方が圧倒的に多く伝えており、教育施設でも比叡山は高校と比叡山学院があるのに対し、高野山には、高校、大学、大学院と専修学院、真別所という複数の修行道場があるのを知って、高野山へ進みました。

●どのような仏像を制作されてきましたか

「守・破・離」という言葉がありますが、私も彫刻を始めた頃は、昔の仏像を模刻したりして技法を学びました(守)。その後、それに工夫を加えて、他の仏像とは違った作風を造った事もありました(破)。

●今後の抱負をお願いします

なるべく日本に密教が伝わった頃の平安初期彫刻や、インド・パーラ王朝の彫刻を参考に、心をその時代に近らせて彫刻するようにしています。

これからは「守」と「破」を越えた「離」の境地を目指して行きたいと思っています。

どうも有り難うございました。これからの活躍を期待しております。

*同窓会報では、各方面で活躍されている会員の方々の一部をご紹介します。と思っています。

お近くの会員で、特にご活躍の方がいらっしゃいましたらご一報いただければ幸いです。

石山寺寄付講座で仏頭を模刻



仏頭の彫塑に取り組む受講生と
長谷法寿師

滋賀県大津市の瀬田川沿いにある石山寺は、聖武天皇の勅願により東大寺の僧・良弁上人が開山した真言宗の名刹です。奈良時代から観音の霊地とされ、平安時代になって観音信仰が盛になると朝廷や摂関貴族の信仰を集め、また多くの庶民の崇敬をうけ、西国三十三所観音霊場第13番札所として今日まで多くの参詣者が絶えません。また、境内の本堂(国宝)にある「源氏の間」は、かつて紫式部がその窓から十五夜の月を眺めたときに靈感を受け、物語の着想を得たと伝承されています。

種智院大学では、平成19年4月より、石山寺寄付講座を開講しています。春学期には、「石山寺の歴史と文化財」をテーマに13回にわたって開講されました。講義は、初回から第4回までを、同窓会長でもあられる鷺尾遍隆・東寺真言宗大本山石山寺座主と綾村宏・京都女子大学教授が担当。第5回以降は、京都市在住の仏師の長谷法寿師(昭和55年)が講師を務め、仏像彫刻の指導が行われました。長谷師が修復を手掛けた仏像の仏頭レプリカなどを参考に、紙粘土を使う彫塑でしたが、大学で仏像を模刻する講義が行われるのは極めて珍しく、「難しいけれど面白い」「できれば彫刻もやってみたい」と受講学生にも好評だったようです。「芸術系の大学で教える西洋彫刻のアカデミックな技法だけでは仏像にならない。仏教の立場は有我ではなく無我。経典を読み、それが頭に描けるようになれば自然と仏像になる。それだけに難しいともいえます」と、講師長谷師は話されました。寺院出身者の受講生の1人は「いつもは正面しか見ていなかったが、自分で造りながら立体的に見ていると、今まで目が届いていなかったところに気づきました」と感想を話しています。

なお、この石山寺寄付講座は、秋学期にも「石山寺の儀礼と美術」をテーマに開講され、石山寺が所有する膨大な文化財の中から絵画、工芸、建築などの貴重な資料が紹介されています。

種智院大学同窓会ホームページ開設

平成19年8月21日運用開始!!

<http://www.s-kg.jp/s-dousoukai/>



大学だより

平成19年度種智院大学宗教実体験ツアー

種智院大学では、知識だけではなく実際の体験を通して宗教に触れてもらうことを目的として、平成19年9月9日から10日にかけて奈良県吉野の大峰山で宗教実体験ツアーを入峯を実施した。

参加者は、学生だけでなく、同窓生や教職員、その他一般からも参加があり昨年度より10名増の28名(うち3名同窓生)であった。また、これとは別に先達として同窓生の大塚知明(平成2)・嶋悠海(平成12)・青木倫裕(平成17)各師のご協力をいただいた。

参加者の半数が大峰山は初めての経験だった。入峯に先立ち、未明に龍泉寺で身を切るような水に沐浴し、明け方一步を踏み出した。初参加者は表行場のほかに、岩場にしがみついて登る裏の行場、はるかに谷底まで見えてしまう覗き修行などを体験。2年目の参加者は、別行動でさらに奥へと進み、小笹の宿を拝した。下山時に少し天候が崩れて雨模様となり、昨年度より早く出発したにもかかわらず、同じくらの帰着となった。経験者も初参加者も、入峯してみると、良い体験ができたとおおむね好評であった。

在学期間中は毎回参加したいという学生もあり、より充実した企画として、同窓会員にも多数参加してもらえるよう、宗教部として取り組みたいとのことである。



9月10日大峰山寺での記念撮影

会員消息

慶事 心からお慶び申し上げます

八尾智大様 (平成18年)・
 孝奈様 (旧姓箕裏 平成18年)平成19年1月14日御結婚
 藤田志保様 (平成12年)平成19年3月28日御結婚
 上村貞郎様 (昭和33年)平成19年3月29日総本山泉涌寺御晋山式
 添野大真様 (平成16年)・
 優実様 (旧姓釋子 平成16年)平成19年3月30日御結婚
 足立有教様 (昭和28年)平成19年春叙勲
 長谷川恵淳様(平成10年)平成19年5月3日御結婚
 熊田秀海様 (平成14年)平成19年10月28日御結婚
 早川道子様 (平成18年)平成19年11月11日御結婚
 安藤友美様 (平成12年)平成19年12月9日御結婚

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます
 藤崎信幸師(昭和35年)平成19年1月御遷化
 田居龍空師(昭和32年)平成19年1月御遷化
 寶山真海師(昭和36年)平成19年2月御遷化
 生駒研性師(昭和25年)平成19年3月御遷化
 岩城秀雄師(昭和10年)平成19年6月御遷化
 潮 恵秀師(昭和19年)平成19年9月御遷化
 小笹憲雅師(昭和24年)平成19年10月御遷化
 藤田俊教師(準)平成19年12月御遷化
 赤松昭様(種智院大学専任講師)平成19年12月御逝去

【結縁灌頂入壇のおすすめ】

弘法大師は、はるばる海を越え遠く唐の都長安において真言密教を学び、金剛・胎藏（こんごう・たいぞう）の両部灌頂に入壇されました。真言密教の秘法を授かる上で最も重要な儀式が「灌頂」（かんじょう）であり、わが国においても弘法大師の帰朝後、幾度となく開かれてきました。

灌頂の中でも、このたび行われる「結縁灌頂」は、出家在家を問わずどなたでも受けることができます。さまざまな儀式によって構成され、中でもクライマックスは「投花得仏」（とうけとくぶつ）といって、目を覆われた受者（＝灌頂を受ける人）が、真言をお唱えしながら曼荼羅に花を投げ、落ちたところの仏さまと縁を結びます。さらに大日如来の智恵の水が頭頂にそそがれることによって、最もすぐれた仏縁が結ばれ、一切の罪を滅ぼすことができると経典に説かれています。

灌頂が行われる石山寺の「光堂」（こうどう）は、この平成20年に落慶。東レ株式会社の寄進により、古来の伝統的建築技法のままに建立された新しくて格式の高いお堂です。

まさに数多くの勝縁を得て行われる、この記念すべき結縁灌頂に、皆様も是非ご参加ください。

【種智院大学】

弘法大師は、天長5年（828）世界最古の庶民のための民間教育機関「綜芸種智院」（しゅげいしゅちいん）を創設されました。その建学の精神を受け継ぎ、明治14年（1881）に雲照律師によって東寺境内に設立された「総曇」（そうどう）が本学のはじまりで、すでに創立125周年を迎えています。

現在、仏教学科と社会福祉学科の2学科で構成されていますが、今回は学科を超えて、弘法大師のみ教えを受け継ぎ、そこに学んだ者たちと、教職員、学生たちが協力して結縁灌頂を厳修します。

なお、会場となる石山寺の座主猥下は、かつて本学に学ばれ、同窓会長にご就任いただいています。

～お参りの心得～

- ① 受付時間内に石山寺までお越しの上、お申し込みください。団体でのご入壇の場合は事前にお申し込みください。灌頂儀式はおよそ1時間半ほどかかります。
- ② 数珠や袈裟をお持ちの方は持参してください。荷物はリュックなど背負えるもので、道場までは少し坂道がありますので歩きやすい履物でお越しください。
- ③ ご不明な点は、種智院大学同窓会事務局までお尋ねください。

種智院大学ならではの

特色を活かした体験教室なども同時開催予定！

お申し込み・お問い合わせ先

種智院大学同窓会事務局 〒612-8156 京都市伏見区向島西定請70 種智院大学内

☎075-605-5960 FAX 075-605-5961

<http://www.s-kg.jp/s-dousoukai/>

私たちは宇宙とつながっている

結縁灌頂

～弘法大師が伝えた、
密教の実践と体験～

in 石山寺



弘法大師像(種智院大学蔵)

平成20年

5月30日(金) → 6月1日(日)

受付時間：午前9時～午後3時

入壇料：7,000円(お一人)

場 所：大本山石山寺(西国第十三番霊場) 光堂

こうどう

※宗旨を問わず、どなたでもお受けいただけます

入 試 案 内

■ 平成20年度 入学試験日程

※は出願時提出

入試種別	試験日	出願期間	試験科目
一般入試1(作文型)	1/27(日)	1/8(火)～1/22(火)	文章表現
宗門関係者入試4			文章表現・面接
社会人入試4			小論文※・面接
編入学試験4			
一般入試2(教科型)	2/23(土)	2/5(火)～2/19(火)	国語(国語総合〈現代文のみ〉)歴史(日本史B・世界史Bより1科目選択)外国語(英語Ⅰ・Ⅱ)から2科目を選択
宗門関係者入試5			文章表現・面接
社会人入試5			小論文※・面接
編入学試験5			
一般入試3A(教科型)	3/12(水)	2/25(月)～3/10(月)	国語(国語総合〈現代文のみ〉)歴史(日本史B・世界史Bより1科目選択)外国語(英語Ⅰ・Ⅱ)から2科目を選択
一般入試3B(作文型)			文章表現
宗門関係者入試6			文章表現・面接
社会人入試6			小論文※・面接
編入学試験6			
センター試験利用入試A	個別試験なし	1/8(火)～2/5(火)	国語は必須 理科を除くその他の科目→1科目選択
センター試験利用入試B		2/25(月)～3/10(月)	計2科目

一般入試2、3A及びセンター試験利用入試A・Bは
奨学金給付生選抜を兼ねています。

◎成績優秀者には入学後、奨学金を給付いたします。

第1種：初年度授業料相当(72万円)

第2種：初年度授業料半額相当(36万円)

第3種：入学金相当額(20万円)

兄弟姉妹の学費減免制度(授業料半額)

兄弟、姉妹で種智院に在籍する学生を応援します!

生計を同じくする兄弟、姉妹が本学に入学された場合、先に入学されている兄弟姉妹の学費を減免します。

大学案内・入学願書について

ハガキまたはお電話(FAX可)、ホームページから入試課へご請求ください。

種智院大学入試課 TEL 075-604-5600 FAX 075-604-5610

<http://www.shuchiin.ac.jp/>

INFORMATION

種智院大学同窓会では、会員の皆様の個人情報保護に努めております。ただし今後とも従来どおり種智院大学・学校法人真言宗京都学園から各種案内郵送の申し出があれば、会員の皆様へご案内文等を送付することがあります。ご了承のほど、よろしくご願ひ申し上げます。